

平成22年8月24日

各 位

マ ネ ッ ク ス グ ル ー プ 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大
(コ ー ド 番 号 8 6 9 8 東 証 第 一 部)

本日、当社の子会社であるマネックス証券株式会社（代表取締役社長 CEO 松本 大）が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

マネックス証券株式会社 プレスリリース（添付）

「ART IN THE OFFICE 2010」選出作品が完成

以 上

【お問合せ先】

マネックスグループ株式会社

社長室 コーポレートコミュニケーション担当 久保田 電話 03-6212-3750

マネックス証券株式会社

マーケティング部 PR担当 町田・福井 電話 03-6212-3800

平成 22 年 8 月 24 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

「ART IN THE OFFICE 2010」 選出作品が完成

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）の「ART IN THE OFFICE」プログラムにおける本年度の選出作品、中田周作氏の「1000s（サウザンズ）」が、この度マネックス証券本社オフィス内に完成いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。



「ART IN THE OFFICE 2010」 作品 中田周作「1000s」

記

1. 完成作品およびアーティストについて

(1) 作品「1000s」について

「ART IN THE OFFICE」は、当グループが2008年より社会文化活動の一環として開始したプログラムで、本年度は108点の応募作品案から中田氏の作品案「1000s」が選出されました。中田氏は約2週間にわたってマネックス証券本社にて制作活動を行い、会議室の縦1.6メートル×横10.0メートルの曲面の壁一面にその作品が完成いたしました。「1000s」は、「都市を成り立たせてきた人々と、その都市に息づく人々の無数の物語が生まれる場を眺める俯瞰図」（中田氏）で、当グループ社員の働く姿もモチーフとして一部に採り入れられています。

本作品は2011年5月末まで展示予定です。本作品の詳細はマネックス証券ウェブサイト（<http://www.monex.co.jp>）にてご覧いただけます。（会議室の一般公開はしておりま

せん。)

(2) 中田 周作 (なかた しゅうさく) 氏プロフィール



1979年長崎県生まれ、東京在住。

2006年武蔵野美術大学大学院修士課程美術専攻彫刻コース修了。2007年イメージフォーラム附属映像研究所アニメーションコース修了。

彫刻、ドローイング、アニメーションに軸を置き、それぞれの要素が別々の入口と出口を結びつけるようなインスタレーションを展開している。人々の周辺を形づくる要素としてのヒューマンスケールな生活サイズの空間から少しずつ離れ、人々やその周りを彩るものを未知なる別次元の存在として同じスペースに、共にあるような感覚を作品によって模索している。絵であること、彫刻であることを忘れさせ、共感的に物事を理解しうるような場を作り出すことを目指している。

(3) 中田周作氏制作後コメント：

「それぞれ固有のバックグラウンドをもった無数の個人が、常に現在おかれた空間から次の空間へと流動的に移動しながら『この世界』がかたちづくられてゆく。そのように『この世界』を偶然と必然が織りなす不可思議な感覚で捉えることがあります。それはさながら延々と回転しつづけるルービックキューブを眺めているかのようです。作品では、そのような感覚で捉えた世界をドローイングで表現しました。このプレスルームの空間で、ルービックキューブの次の一手が話し合われることを心から光榮に思います。このような機会を与えてくださったマネックスの方々、また審査員の方々に感謝します。」

2. 「ART IN THE OFFICE」プログラムについて

本プログラムは、コンテンポラリーアートの分野で活動する新進アーティストの支援を目的として、特定非営利活動法人アーツイニシアティブトウキョウの運営協力を得てマネックス証券が企画・主催しております。

広く作品案を公募し、5名の審査員によって選出された1名のアーティストが作品をマネックス証券本社内の会議室に制作、完成後およそ1年間、会議室をその作品発表の場として提供するものです。

過去の本プログラム作品につきましては、マネックスグループ株式会社ウェブサイト (<http://www.monexgroup.jp>) をご覧ください。

以 上